

現状・課題

心と体の健康づくり

- 生活習慣病による年齢調整死亡率は、依然として全国平均を上回っており、予防対策の推進や特定健診の受診率向上が必要。
- がんによる死亡率も依然として高く、がん検診の受診率向上に向けた取組やがん教育の推進などの対策強化が必要。
- 自殺者数は減少傾向にあるものの、死亡率は依然として全国的にみても高い状況が続いており、引き続き、総合的な対策の推進が必要。

高齢者福祉等

- 高齢化率が全国一高く、平成42年には40%を超える見込みであることを踏まえ、健康寿命の延伸や認知症に対する総合的な取組が必要。
- 住み慣れた地域で安心して生活するために、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築や計画的な介護施設の整備、介護福祉分野の人材育成などが必要。

医療提供体制

- 医師不足や偏在解消に向け、医師の確保・定着を図るとともに、若手医師の地域循環型キャリア形成システムの推進など総合的な対策の推進が必要。
- 県民が等しく救急医療を受けられる体制の確保や、地域の中核的病院の医療機能の維持、高度医療や救急医療等の提供体制の充実が必要。
- 過疎化や高齢化が進行する中、安心して住み慣れた地域で生活を続けられるよう、在宅医療体制の充実が必要。

施策・方向性

元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略

①元気で長生きできる健康づくりの推進

- 生活習慣病予防対策の推進
- 総合的ながん対策の推進

②いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化

- 地域の中核的な病院等における医療機能の強化と高度医療の充実
- 救急・周産期医療体制の整備
- 在宅医療提供体制の充実
- 医師等の医療従事者への支援と定着の促進 等

③高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり

- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進
- 医療・介護・福祉の連携強化による地域包括ケアシステムの構築
- 認知症対策の推進
- ひきこもり対策の推進
- 介護・福祉人材の確保・育成 等

④民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進

- 県民に対する普及啓発活動と相談体制の充実強化
- うつ病等の早期発見・早期受診の促進と職場のメンタルヘルス対策の促進
- 地域における取組への支援と自殺未遂者対策の充実

数値目標

平成29年度末までの数値目標

脳血管疾患年齢調整死亡率(10万人当たり)

H25	H26実績(H26目標)	H29目標
41.3	38.5(41.4)	38.3

がん75歳未満年齢調整死亡率(10万人当たり)

H24	H26実績(H26目標)	H29目標
89.0	86.5(80.9)	73.0

病院の勤務医師数

H24	H27実績(H27目標)	H29目標
1,305	1,311(1,357)	1,393

健康寿命

H22	H25実績	H29目標
男性70.46	男性70.71	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
女性73.99	女性75.43	

自殺死亡率(10万人当たり)

H25	H26実績(H26目標)	H29目標
26.5	26.0(26.5)	25.0